

# 会 議 録

## 1 会議名

令和5年度 第5回中郷区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### （1）報告（公開）

- ・中郷区公共交通懇話会の開催結果について

### （2）協議（公開）

- ・自主的審議事項「中郷区型コミュニティバスのあるべき姿」について
- ・視察研修について

### （3）その他（公開）

## 3 開催日時

令和5年8月28日（月） 午後6時30分から午後7時40分まで

## 4 開催場所

中郷コミュニティプラザ ホール

## 5 傍聴人の数

0人

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・委 員：竹内靖彦（会長）、高橋京子（副会長）、岡田龍一、高橋達也、竹内昭彦、松原功、宮川昇藏、村越勝彦、陸川陽一（欠席3人）
- ・事 務 局：中郷区総合事務所 高波所長、加藤次長（総務・地域振興グループ長事務取扱）、宮尾市民生活・福祉グループ長（教育・文化グループ長併任）、桐山地域振興班長、津島地域振興班主事、早川税・市民生活班長、野坂教育・文化班長（以下、グループ長はG長と表記。）

## 8 発言の内容（要旨）

**【桐山班長】**

会議の開会を宣言。

上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 2 項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。

**【竹内（靖）会長】**

会議録確認を陸川陽一委員と岡田龍一委員に依頼。

報告事項「中郷区公共交通懇話会の開催結果」について事務局に説明を求める。

**【桐山班長】**

資料No.1、2 を基に説明。上越市総合公共交通計画の後期計画再編の方向性を確認した。

**【高橋（達）委員】**

この経過について、中郷区の住民へはどのように伝わっていくのか。

**【桐山班長】**

現在の乗合タクシーの運行はもうしばらく継続され、住民に直接関係のある事項の変更はまだ発生しない。今後公共交通懇話会で今の運行と異なるような運行について協議された段階で、住民へも周知していく考えでいる。

**【高橋（達）委員】**

資料 2 から、令和 6 年 9 月までは現在の運行が継続され、令和 7 年度以降どうしていくかは別の話と捉えて良いのか。

**【桐山班長】**

資料 1 を見ていただきたい。令和 5 年 11 月までに中郷区公共交通懇話会の方針を協議し、協議結果を令和 5 年 12 月に市の地域公共交通活性化協議会に諮る。域公共交通活性化協議会では全市の計画案を諮り、承認後、令和 6 年 1 月にパブリックコメント、令和 6 年 3 月に計画の策定となっている。パブリックコメントや計画の策定の段階で必要に応じて周知する予定にしている。

**【高橋（達）委員】**

令和 6 年度までは現状が継続され、令和 6 年度以降については、計画が策定されたら区の住民に周知するという事か。

**【桐山班長】**

その認識でよい。

**【竹内（靖）会長】**

人口減少が原因でもあるが、公共交通利用者は増えていない。周知の仕方も、公共交通に興味を持っている人は積極的に情報を見てくれると思うが、そうではない人に分かりやすい説明をするのは難しい。考え方を変えていなければならない部分であるとも思う。委員のみなさんからも意見を寄せていただきたい。

公共交通懇話会に出席した地域協議会委員もいるため、会議の様子について発言いただきたい。

#### 【高橋（京）副会長】

公共交通懇話会会長になったため、進行を務めた。自由に討論していただき、スクールバスの活用も話題に上がった。利用者が少ないという話の中で、需要がある人を1か所に集め、徒歩移動で生活できるような仕組みも将来的にはあるのではないかなど、様々な意見が出た。乗合タクシー運行側からの意見のうち、最も大変だと感じたのは、今後公共交通を運行していくにしても、運転手不足が甚だしいという意見である。公共交通の需要は今後もあると思われるが、運転手不足により、実際の運行が出来なくなる可能性もあるのではないかという意見であった。

公共交通懇話会で一致した意見として、公共交通の必要性や地元から公共交通がなくなることへの危機感は誰もが感じているが、利用はしていないというのが現状であり、この点を解決する策がなく、もどかしいということであった。

#### 【岡田委員】

市内で行っている参考事例を次回の公共交通懇話会で紹介いただき、今後の計画について検討していくこととなっている。私が最も気になったのも運行業者のことである。人手が足りず大変であるという消極的な話から切なさや辛さを感じ、残念だと思った。

より良い試みを見つけ、住民の皆さんが使いやすい公共交通にしていきたいと思う。

#### 【竹内（靖）会長】

人手不足で会社経営が難しくなっているのはどの業者も一緒である。住民団体の互助による輸送も視野に入れながら、やっていかなければならないと思う。意見交換の場には積極的に参加いただきたい。

ほかに報告事項はないか。

#### 【桐山班長】

前回の地域協議会で要望のあった野林交差点の停止線について経過を報告する。停止線の所管は公安委員会のため市で対応はできないが、外側線は市が所管となり、板倉区総合事務所の担当が9月末までに対応する。

#### 【竹内（靖）会長】

協議に移る。(1) 自主的審議事項「中郷区型コミュニティバスのあるべき姿」について事務局に説明を求める。

#### 【桐山班長】

乗合タクシー貸切ツアーを中郷区さとまる学校がこれまで6回実施し、41人の参加があった。8月の実施日には5人の委員にも参加していただいた。参加者からは、好評を得ているが、本事業の目的である「乗合タクシーを利用した移動の日常化」を達成するには、時間をかけ回数を重ねる必要があると認識している。前回までの協議において、次年度も継続する方向としたところである。

非公開資料として配付した昨年の予算要求時に作成した資料を確認いただき、見直すべきところ、修正すべきところを協議していただきたい。

#### 【竹内（靖）会長】

4～6月は、さとまる学校が企画したツアーに声がけして参加者を募っていた。7月には中郷区に移住してきた方から参加申込みがあり、乗っていただいた。8月は委員のほかに、親子の参加があった。

現時点では企画内容がどうかではなく、乗合タクシーの利用意識向上に届いていないように感じている。利用者からは安価で乗ることができ、中郷区のことを知ることができたと好評だが、検証に結び付くには時間がかかると私は思っている。

委員から乗車した感想を教えてください。

#### 【高橋（達）委員】

移住してきた方と一緒に乗ったが、移住してきたばかりで地域のことを知らないため乗ってみようと思ったと話していた。知らない場所の発見に驚いている様子であった。現在中郷区にどれくらいの移住者がいるのかわからないが、移住者や中郷区にお嫁に来た人にもっとPRが必要なのではないかと思った。

当初の目的は乗合タクシーの乗車に結び付くようなことであったが、難しさを感じている。名所めぐりとしては予約をして参加してくれていると思うが、参加者にいざ通院などに使うかと聞くと、おそらく利用しないだろうと言っていた。中郷区を知るという意味では、この企画はとてもいいのではないかとのことだった。声がけが進んでいけばツアーそのものは盛り上げるやり方があると思う。次年度の提案事業で、乗合タクシーの利用者増につなげることを目的とするか否かは、もう少し考えていかなければならないように感じている。

乗合タクシーについて、自分自身は利用したことがないが、ルートによって業者の対応が良くないと耳にしたことがある。業者の事情もあると思うが、中郷区のあるべき交通手段の検討も早めにしていくべきなのではと感じた。

#### 【松原委員】

私自身は参加して楽しかった。中郷にお嫁に来た方とその子どもと同乗したが、中郷にあるものを知り、初めての経験を喜んでいた。私自身の感想として、旧岡沢小学校があんなに良い民俗資料の収蔵施設となっているのに知られていないのはもったいないと思った。頻繁に開催しなくても良いと思うが、内容が分かれば参加してくれる人も増えると思う。地域協議会委員や総合事務所がやっていることがあまり伝わっていないような気もした。参加しないと楽しさも分からないため、「楽しかったよ」と参加者から伝えてもらい、参加者を増やしていけたら良いと思う。

乗合タクシーの利用者が減り続けている原因も事務局で調べているのであれば知りたいと思う。以前は通院者の利用が多かったが、最近は減少していると聞いている。乗っている人も年々変わっているのだと思う。

#### 【桐山班長】

公共交通の利用者の減少は中郷区だけでなく、全国的なものである。人口減少や少子高齢化もあると思う。交通弱者にあたる高齢者は増えているが、利用者は減少している状況である。

平成 29 年に交通政策課が行った乗合タクシーのアンケートでは、予約の面倒さが利用しない理由として多い。自家用車という便利な移動手段を経験したことや、家族や友人など頼れる人が身近にいるため、利用者が減少していると分析している。

#### 【竹内（靖）会長】

どうしても予約の面倒さは付いて回ってしまう。（中郷区さとまる学校の理事長の立場で）今回のツアーもこちらから声をかけると「行ってみようかな」という反応であった。使ってみると便利だなと感じていただけだが、自分で予約して利用するという気持ちにするにはまだ課題があると感じた。

#### 【竹内（昭）委員】

ツアーとしては良かったと思っている。片貝縄文資料館や岡沢拠点収蔵施設に何度か行ったことはあったが、説明を聞くと自分でただ見ているのとは違う新たな感覚になって良いと思った。その地域に住んでいないとなかなか訪れないような場所を知ってもらえたのも良かった。こういうことをうまく伝えることが出来れば良い企画になっていくと思う。

ツアーと現行の乗合タクシーとの結びつきをどのようにしていくのかということもあるが、私も利用したことがないので一度乗車してみて考えを深めたい。自分で運転が出来たり、頼めば車に乗れたりすることが、乗合タクシーの予約に対する手間をより感じるのだと思う。解決する方法もあるとは思いますが、費用面などの問題もあるので、まずは初心に戻って乗車してみようと思う。

#### 【竹内（靖）会長】

少しでも考えが変わっていくと良いと思うが、乗合タクシーの利用に結びつかないと目的がぶれてしまう。今後の地域団体の互助による運行も見据えて方向転換をしていく必要があると思う。年間 20 回の企画を立てるのも、実際にやってみるとハードルが高い。日常的な使い方を視野に入れながらやっていく必要があるようにも思う。現在の運行に関して要望があれば聞きたいと思う。

1 年度限りの実施では検証として結果が出せないため令和 6 年度も継続する予定だが、今と全く同じように実施しても意味がないと思うので、皆さんから意見を聞きたい。

(中郷区さとまる学校の理事長の立場で)さとまる学校が実施した別の事業でとったアンケートには、保護者や祖父母からは送迎が何よりも有難いと意見があった。子どもたちの居場所にも絡めて公共交通のあり方を検討できると良いと思う。

#### 【村越委員】

公共交通懇話会の資料を見ても、公共交通を現状のまま継続するのは難しいのだろうと感じた。互助による運行を検討していく必要があると思った。

ツアーについては、今年度は乗合タクシーに乗る機会を増やすことを目的にこのまま継続で良いと思うが、今後も利用者が少ない場合は一本釣りで参加者を増やす方法が良いと思う。次年度は新しい方向性を探るべきだと思う。

#### 【竹内（靖）会長】

やはり、今後は互助による運行を想定して実施していった方がいいように感じる。このままツアーを企画し、中郷区を知ってもらうのも大事なことであると思うが、我々がやろうとしていることはそこなのかと思うと疑問を感じる。

(中郷区さとまる学校の理事長の立場で)現在中郷区さとまる学校で委託を受けて事務員を雇って実施しているが、ほぼ事務局員 4 名でツアー企画を立てるので、公共交通懇話会委員を巻き込むなど企画の話し合いにはいろいろな人から加わってもらうのが大切ではないかと思うが、皆さんはどう思うか。

#### 【高橋（達）委員】

乗合タクシーについて、都会は買い物に公共交通を使っているが、この地域は車社会になっており、お年寄りが運転出来なくても家族が何とか送迎をしている。そのことを思うと、中郷区外の買い物にも使えるようになれば、もう少しお年寄りだけでも利用が増えるのではないかと思う。新井地区までの買い物に、週末になれば家族の送迎があるにも関わらず、わざわざ予約して利用することに不便さを感じているのではないか。気軽に買い物に行けるようになればまた変わるのではないか。ツアーでも買い物に行く企画は利用者がかかりいたと思うが、中郷区外に出ていく方向も考えなければならないのではないか。

#### 【竹内（靖）会長】

現在中郷区さとまる学校で年4回程度お買い物ツアーをやり、区外の店にも行っているが、高齢者向けのものである。そこまでやると好評は得られると思うが、乗合タクシーの利用増には結び付きにくいとも思う。日常的な利用で、公共交通に慣れることを大切にしていかなければならない。そこには予約のハードルも超えていかなければならないため、もう少し検討が必要だと思う。

予算要求の時期も迫っているため、予算的にこれで良いのか修正をしていく必要がある。事務的な企画運営費はこの程度で良いと思うし、運転業者の値段の大きな変更もない。このくらいの金額を目途とし、内容について利用者の声を聞きつつ、互助による運行にも結びつけながら皆さんと協議していくこととする。高齢者の利用も声がけをすれば参加はしてくれるが、声がけのやり方も考えていきたい。

#### 【松原委員】

友人の話から、乗合タクシーに対して高齢者が乗る乗り物だと偏見を持っている人もいる。「乗合タクシー」という名前が高齢者の乗り物に感じさせてしまっているのではないかとも思う。予約の手間についても難点である。また、少数ではあるが、週2回程度北新井への買い物に利用している人もいる。2人や3人で仲間になって行っているようだ。病院など今までの行先だけでなく、他のショッピングセンター等へも行けるようになると変わってくると思う。

#### 【桐山班長】

次年度は2年目の実施となるが、今ほどの委員の皆さんの意見を聞き、継続することの大切さを感じた。内容は、今ほど様々な意見が出たが、それをどこまで出来るのか、やるべきなのかについて事務局で再度検討し、継続事業として地域独自の予算の要求につなげていきたいと思う。

#### 【高橋（達）委員】

前を見るという考えでは、もう少し増額してもいいのではないかと思う。高齢者だけでなく、子どもも対象とした日曜日のツアーも企画するなど、内容は大きく変わらないにしても、少し上乗せをして事業をやらないと、先が見えず事業としての限界が見えてしまうように感じるため、そこも考えて要求するべきではないか。

#### 【竹内（靖）会長】

増額に関して、チラシを配っても案外見てもらえていない現状を知ったので、何がいいのかは分からないが、PR費の増額や、SNSを使った発信を考えながら進めていきたい。

（中郷区さとまる学校の理事長の立場で）委託を受けている責任として、利用者にヒアリングをし、より良い方向性を見つけたいと思う。

以上でこの件については一旦協議を閉じる。協議事項（2）視察研修について、

事務局に説明を求める。

#### 【桐山班長】

資料No.3 を参考に説明。高橋（達）委員から令和 5 年 2 月に創造行政研究所が発行した「ニュースレターNo. 52」に記載のあった徳島県神山町のような事例を近隣で視察できるような場所や、自主的審議事項として進めてきた内容の参考になる場所の視察が良いのではないかと意見をもらった。

#### 【高橋（達）委員】

「ニュースレターNo. 52」には、上越教育大学で行われた徳島県神山町の大南氏による講演をまちづくりのポイントにまとめて記載があり、ステップを踏んでまちづくりを進めているのが非常に面白いと感じた。このようなまちづくりを積極的にやっている場所が近隣にないのかと思い、探してほしいと事務局に提案した。未来の子どもたちのためのまちづくりに参考になるのではないかと感じている。昨年行った小布施町では実際にバスに乗車し、地域独自の予算事業提案につなげている。今回の研修の内容も次の地域独自の予算等につなげていければ良いと思う、お願いをしたところである。

#### 【竹内（靖）会長】

事務局との事前打ち合わせにて、高橋（達）委員から提案があったことの報告を受けた。視察研修でどこかに出かけるのは多忙によりスケジュール調整が難しく、創造行政研究所の職員から話を聞いた方が良いのではないかと考えている。無理をしてどこかへ研修に出るとなると、様々な労力が必要になる。創造行政研究所が中郷区の実践に興味を持っているという情報も以前加藤次長からあったが、望むものを見て自分たちには出来ないことを学びに行くのではなく、自分たちがやれることに近づくという意味でもこのような研修にしたいと思うがどうか。

加藤次長から、創造行政研究所について紹介があれば発言を求める。

#### 【加藤次長】

副所長と私は合併前から公共交通の研究で関りがあり、創造行政研究所の活動をニュースレター等で見てきた。

視察先の提案を受けてどのようにしたら良いか考えてみたが、視察に出ても理想の表面しか見て来られないのではないかと考えた。創造行政研究所はかなりの研究資料を持っており、交通の実践では、その成り立ちから運行にたどり着くまでの苦労や協力体制について話を聞いたことがある。この機会に身近にある創造行政研究所から情報をもらい、その事例を見に行きたいとなってから視察しても良いと思う。まずはたくさんあるうちの一部になるかもしれないが、学ぶことが大切だと考える。

創造行政研究所の所長が今春から代わっているが、所長も中山間地域の振興策の研究や支援活動をずっとされている方であり、中郷区におけるビレッジプラン

も所長が関わった部分がベースとなり策定されている。所長も中郷区に興味を持っていらっしゃるかと聞いている。

中郷区地域協議会と創造行政研究所が互いに興味を持っていることを良い機会ととらえ、皆さんに学んでいただき、私自身も学びたいと思い、正副会長にお伝えした。

#### 【竹内（靖）会長】

やみくもに研修を行うのではなく、地域協議会の求めるテーマに沿った内容となるように事務局と調整していきたい。

現場で学んできた人の学びと私たちがやろうとしていることが結びつくような研修にしたいと思う。いつの実施になるか分からないが、地域協議会としてテーマ等要望があれば意見をいただきたい。

以上で協議は終了する。その他あるか。

#### 【宮川委員】

（中郷商工会長の立場で）毎年やっているが、9月16日（土）10：30～15：00に二本木駅をメインに鉄道まつりを開催する。今までは商工会が事務局となって動いていたが、商工会の合併に伴い、来年度は中郷区まちづくり振興会が中心になって継続していくことになった。

今年度は節目となる5回目の開催であるため盛大にやりたと考えている。内容に昨年から大きな変更はないが、大名行列をやろうと計画している。大名は鉄道まつり実行委員長に務めていただく予定。中郷区さとまる学校の協力を得て、子どもたちも参加し、昔の行列での移動から現代の新幹線による移動への変化を表現しようとしている。また、子ども向けにキャラクターショーをやり、人を集めようとしている。委員の皆さんにも協力を依頼することもあると思うが、よろしくお願いしたい。

#### 【竹内（靖）会長】

以上で、本日の地域協議会は終了とする。この後、子どもの居場所づくりについての勉強会を非公開で行う。次回の地域協議会は、第4月曜日の9月25日（月）18時30分から中郷コミュニティプラザで行うこととする。

## 9 問合わせ先

中郷区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL：0255-74-2411（内線165）

E-mail：nakago-soumu.g@city.joetsu.lg.jp

## 10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。